

令和元年度 地域生活支援拠点検討部会 記録

令和元年 5月 16日(木)

13:30~14:40

高松市社会福祉協議会

1. 昨年度「緊急時支援事業 コア会議」の報告

昨年度開催されたコア会議 6 ケースを分析すると、重度の障がい者を老親が支援していたが、限界が来たため支援を要するようなケースよりも、軽度の障がい者で何らかの理由で生活の場を緊急に探しているケースが多かった。また、医療機関や児相等関係機関では十分に対応できない対象者であり、緊急に一時的に利用できる場所を探す必要のあるケースでもあった。この層の対象者に緊急時にどのようなスキームで支援を届けるかは、今後、事務局を中心に検討していく必要がある。

2. 高松市・直島町地域生活支援拠点現状整理図より

(1) 「緊急時プラン」をサービス等利用計画に反映させる件について

- ・検討の場: 相談支援部会で実施予定

(2) 相談支援との緊急連絡体制の整備について

- ・検討の場: 相談支援部会
- ・内 容: 計画相談支援事業所の緊急連絡体制の整備

(3) 緊急時受け入れ短期入所事業所登録について

- ・検討の場: 昨年度の形態で検討
- ・内 容: 短期入所事業所の協議の場を作る。まずは、緊急時対応に興味を示している 4 事業所のコアメンバーを中心に集まる。

(4) 緊急時支援事業連絡会

- ・検討の場: 昨年度の形態で検討
- ・内 容: 地域拠点と受け入れ事業所で定期的な連絡会の開催。実際の受け入れについて協議すると同時に受け入れの限界をも確認する。

(5) 医療的ケアに関する研修の実施

- ・検討の場: 医療的ケア部会
- ・内 容: 緊急時に利用できる医療制度や加算等について学習する。

(6) 親亡き後に関する研修の実施

- ・検討の場: 知的障害者支援部会
- ・内 容: 親亡き後の相談支援委必要な知識等について学習する。

(7) アウトリーチについて

- ・検討の場: 新規に設定
- ・内 容: 潜在化しているニーズの掘り起こし

3. その他

県協議会に地域生活支援拠点の取り組みについて報告し、できることは、協働しながら行う仕組みを作りたいとの意見あり。例えば、緊急時の情報のやり取りの書式や内容、人材育成に関する研修等

次回 6月 20日(木) 13:30~